

日中脱炭素都市 フォーラム

主旨

都市は世界のエネルギー消費と温室効果ガス排出をそれぞれ7割以上占めています。世界が気候変動問題に取り組む中、日中両国はそれぞれ2050年と2060年にカーボンニュートラル目標を掲げています。その目標を実現するために、低炭素・脱炭素都市を作り、持続可能な都市開発への道を探っています。本フォーラムは、都市の脱炭素化について、日中両国の先進事例を共有するとともに、国際都市間連携の強化、ゼロカーボン・キャンパスなどパイロット事業の策定・実行等の一層の促進方策について議論し、展望します。

プログラム

● 午前の部 脱炭素都市学術ワークショップ

10:00～10:10

主旨説明

周 璋生 立命館大学政策科学部教授

【東アジアのグリーンリカバリーと脱炭素都市構築】

10:10～10:40

* 山地憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)理事長

【脱炭素に向けた取組みと都市の役割】

10:40～11:10

* 沈 満洪 浙江農林大学党委員会書記、寧波大学元学長

【脱炭素都市の実現に向けた道筋と推進力】

11:10～11:30

近本智行 立命館大学サステイナビリティ学研究センター長

【立命館大学におけるサステイナブルキャンパス戦略の現状】

11:30～11:50

申 立銀 浙大城市学院国土空間計画学部教授

【市民生活視点からの脱炭素都市構築】

● 午後の部 脱炭素都市フォーラム

14:00～14:40

ご挨拶

仲谷善雄 立命館大学学長

羅 衛東 浙大城市学院学長

門川大作 京都市長

姚 高員 杭州市代理市長

協力協定調印式

・立命館大学-浙大城市学院

・立命館大学サステイナビリティ学研究センター-浙大城市学院商学院

14:40～15:50

* 孔 鉉佑 中国駐日本国特命全権大使

* 小宮山宏 三菱総合研究所理事長、東京大学元総長

【脱炭素社会の実現】

* 仇 保興 中国都市科学研究会理事長、国务院参与

【建築、交通と廃棄物処理三大分野
に見る都市型炭素削減の道筋】

15:50～16:40

脱炭素都市構築事業紹介

京都市紹介

杭州市紹介

16:40～17:00

閉会の辞

小杉泰

立命館大学アジア・日本研究所(AJI) 所長

章 巍

浙大城市学院副学長

※ 登壇者は変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

開催日時

12/23 2022年
金曜日
10:00～17:00

オンライン開催

言語：日本語↔中国語

同時通訳

申し込みはこちら！



bit.ly/DcarbonJpnChn

日中脱炭素都市 フォーラム



山地 憲治 (公財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事長

工学博士 (東京大学)、(財)電力中央研究所経済研究所、エネルギー研究室長、東京大学教授、(財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事・研究所長、同研究機構副理事長、理事長等歴任。著書に「原子力の過去・現在・未来」(コロナ社)、「システム思考のすすめ」(日本電気協会新聞部)等多数。



沈 滿洪 浙江農林大学党委員会書記、寧波大学元学長

浙江農林大学カーボン・ニュートラル研究院院長、中国生態経済学会 副会長。主に資源・環境経済学の研究に従事し、国家社会科学基金会など70以上の研究プロジェクトを主宰し、「経済研究」「経営世界」などの雑誌に300以上の学術論文を発表、著書に「低炭素発展論」「中国水系研究」など多数、研究成果授賞多数。



孔 鉉佑 中国駐日本国特命全権大使

外交部副部長兼中国政府朝鮮半島担当特別代表 (2017年)、外務次官補 (2015年)、外務省アジア局長 (2014年)、駐ベトナム大使 (2011年)、駐日大使館公使参事官、公使 (2006年)、外務省アジア副司長 (2003年)、河南省開封市の市長補佐 (2000年) など歴任。



小宮山 宏 三菱総合研究所理事長、東京大学元総長

工学博士 (東京大学)、第28代東京大学総長。プラチナ構想ネットワーク会長など歴任。著書に『課題先進国』日本 (中央公論新社)、「日本『再創造』」(東洋経済新報社)、「新ビジョン2050 (日経BP社)」など多数。また、2020年に瑞宝大綬章、2017年ドバイ知識賞、2007年イタリア連帯の星勲章など、国内外の受賞も多数。



仇 保興 中国都市科学研究会理事長、国务院参与

経済学博士 (復旦大)、工学博士 (同済大)。国際水協会 (IWA) 中国委員会会長、中国都市計画学会会長、国务院参与、中国住宅建設省副大臣、杭州市長など歴任。専門は都市化理論と都市計画。ユネスコ、国際グリーンビルディング評議会、国際水協会など国内外の受賞も多数。多くの著書がイギリス、ドイツ、イタリアの出版社から翻訳され、出版。



申 立銀 浙大城市学院国土空間計画学部特任教授

中国建設管理研究会初代会長。研究分野は持続可能な国土空間計画と都市開発、低炭素スマートシティなど。400以上の学術論文を発表し、6年連続 (2014-2020) で Elsevier Highly Cited Chinese Researchers に選ばれた。



近本 智行 立命館大学理工学部教授、立命館大学サステナビリティ学研究センター長

工学博士 (東京大学)。専門は建築・都市環境工学、建築設備、環境共生。第39回空気調和・衛生工学会賞技術賞、第9回環境・省エネルギー建築賞国土交通大臣賞等受賞。著書に「建築物の省エネ設計技術省エネ適判に備える」(学芸出版社) など。



周 瑋生 立命館大政策科学部教授

工学博士 (京都大学)、エネルギー環境政策学・政策工学専攻。新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 産業技術研究員、地球環境産業技術研究機構 (RITE) 主任研究員・研究顧問、立命館サステナビリティ学研究センター長、立命館孔子学院長、大阪大学特任教授、浙江大学、北京大学客員教授等歴任。著書 (共著) に「East Asian Low-Carbon Community」(Springer、2021) など多数。